

# 生薬学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》高上馬希重(薬学部) 金 尚永(薬学部)

## 【概要】

人類は多様な生物種が作り出す多様な分子化合物を含む生薬を見出し、医療に供してきた。この薬物知識は長い年月をかけて受け継がれ、伝承医療として形成されてきた。これらの伝承医療は近代科学によって、効能、効果が確認、証明されるとともに、活性本体化合物、含有成分についての分子的理解も明らかにされつつある。本講義は生薬に含まれる化学成分の基本的知識および医療における適正利用知識を修得することを目的とする。

## 【学修目標】

有効で安全な薬物療法の提供、人々の健康に寄与するために必要な、生薬に関する基本的な事項ならびに応用までの知識を身につける。

生薬を医薬品として用いるさいの法令を理解し、基本的な知識を身につける。

医薬品資源としての天然生物活性物質を構造によって分類・整理するとともに、天然生物活性物質の利用に関する基本的事項を説明できる。

「生薬学」は「薬用植物学」、「漢方薬学概論」、「基礎薬学実習」と関連することを認識できる。

生薬学をもとにした医薬品に関する基礎および応用の科学的知識を身につける。

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

## 【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。